



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 日本精鉱株式会社

上場取引所 東

コード番号 5729 URL <https://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 理史

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画管理部長 (氏名) 若林 武則

TEL 03-3235-0021

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	7,713	5.3	752	241.4	745	256.4	499	271.6
2020年3月期第3四半期	8,148	25.8	220	78.7	209	79.4	134	80.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 512百万円 (314.6%) 2020年3月期第3四半期 123百万円 (81.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	204.56	
2020年3月期第3四半期	55.05	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	11,437	7,645	66.8
2020年3月期	10,784	7,286	67.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 7,645百万円 2020年3月期 7,286百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		37.50		37.50	75.00
2021年3月期		25.00			
2021年3月期(予想)				40.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,300	3.5	970	116.3	960	121.4	660	130.6	270.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	2,605,900 株	2020年3月期	2,605,900 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	165,418 株	2020年3月期	165,331 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	2,440,547 株	2020年3月期3Q	2,440,818 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期」という）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種対策が講じられ、経済活動に持ち直しの動きが見られるものの、感染の再拡大が生じており、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。また、海外においても、感染の再拡大による経済活動の制限や金融資本市場の変動などにより、景気の先行きについては、厳しい状況が続くと見られています。

当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響による、様々な産業分野での生産活動の停滞から、緩やかな回復が図られていますが、産業ごとにはばらつきがあります。自動車や半導体関連産業などは回復基調にありますが、繊維産業や建設関連資材分野などでは低迷しています。一方、感染予防対策から生じたワークスタイルの変化により、テレワークなどに代表される仕事や業務の効率化と働き方の改革を目指すデジタルトランスフォーメーションに活用される電子機器産業は堅調を維持しています。

このような環境下、当社グループは感染予防対策を実行しつつ、操業を継続し、国内外での販売力の強化に努めるとともに、コストダウンの実行、製造力及び技術力の向上、様々な工程や業務での無駄の排除及び改善などに取り組んでまいりました。

また、金属粉末事業を担っている日本アトマイズ加工株式会社は、つくば工場棟の改修と生産工程の後工程となる分級室の増築を完了し、軟磁性材金属粉末の増産を行い、電子機器向けの需要の増加に対応いたします。

これらの結果、当第3四半期の売上高は前年同期比434百万円減収（5.3%減収）の7,713百万円、営業利益は同531百万円増益（241.4%増益）の752百万円、経常利益は同536百万円増益（256.4%増益）の745百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同364百万円増益（271.6%増益）の499百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

## 〔アンチモン事業〕

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、主産地である中国において需給が緩んだため、下落基調が続いていましたが、9月に入り需給が締め始め、相場も上向きに転じています。当第3四半期の平均価格は、トン当たり約5,800ドルとなりました。国際相場のドル建て平均価格は前年同期比約8%下落し、円建てでは約10%の下落となりました。

同事業の主製品である三酸化アンチモンには様々な用途があります。主たる用途は、プラスチック、ゴム、繊維などの高分子材料を燃えにくくする難燃助剤であり、広範な産業分野から電化製品といった各家庭での必需品にも使用され、防災機能を付与することで、人的・経済的な損失を防止することに大きく貢献しています。

同事業の販売状況につきましては、経済活動の持ち直しを受け、販売は回復しつつあるものの、繊維製品や建設関連資材などの需要低迷で、第2四半期までの落ち込みを補うまでには至らず、販売数量は前年同期比693トン減少（14.0%減少）の4,242トンとなりました。

その結果、同事業の当第3四半期の売上高は、販売数量の減少と販売価格の下落により、前年同期比1,157百万円減収（26.5%減収）の3,213百万円となりました。セグメント利益は、同70百万円減益（79.1%減益）の18百万円となりました。

## 〔金属粉末事業〕

同事業の主原料である銅の国内建値は、当第3四半期平均でトン当たり714千円となり、前年同期比3.6%の上昇となりました。

同事業の主製品は、電子部品の導電材料向け銅およびその他の金属粉末、パワーインダクタ向けの軟磁性材金属粉末、自動車部品や産業機械部品などに使用される焼結材料向けの金属粉末で、各種製品の高機能化や利便性に貢献しております。

電子部品向け金属粉の販売状況につきましては、新型コロナウイルス感染症対策として、在宅勤務を中心としたテレワークの急速な普及や教育などのオンライン化への取組みが、ノートパソコンやタブレットなどの通信機器端末の需要を喚起すると共に、デジタルトランスフォーメーションの推進がデータセンターや基地局向けを含む5G関連需要を増加させており、堅調に推移しております。販売数量は前年同期比289トン増加（47.0%増加）の905トンとなりました。

粉末冶金向け金属粉の販売状況につきましては、主用途である自動車部品向けが第3四半期に入り、回復傾向となっておりますが、第2四半期までの受注減少の影響が大きく、販売数量は前年同期比168トン減少（14.3%減少）の1,010トンとなりました。

全体の販売数量は、前年同期比121トン増加（6.7%増加）の1,915トンとなりました。

その結果、同事業の当第3四半期の売上高は、電子部品向けの販売数量の増加により、前年同期比722百万円増収（19.2%増収）の4,484百万円となりました。セグメント利益は、同616百万円増益（651.6%増益）の710百万円となりました。

[その他]

不動産賃貸事業の当第3四半期の売上高は16百万円（前年同期比3.2%減収）、セグメント利益は16百万円（前年同期比3.0%減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ652百万円増加の11,437百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比べ573百万円増加の7,070百万円となりました。これは主に現金及び預金が584百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ79百万円増加の4,366百万円となりました。

(負債)

当第3四半期末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ293百万円増加の3,791百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ251百万円増加の3,068百万円となりました。これは主に短期借入金が141百万円、未払法人税等が183百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ42百万円増加の723百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ359百万円増加の7,645百万円となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により499百万円増加しましたが、配当により152百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2020年5月15日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2021年2月5日）公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,905,207	3,489,266
受取手形及び売掛金	1,602,997	1,604,947
商品及び製品	1,061,471	1,099,371
仕掛品	234,670	198,686
原材料及び貯蔵品	566,576	552,789
その他	131,545	130,450
貸倒引当金	△4,793	△4,555
流動資産合計	6,497,675	7,070,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,524,923	1,540,321
機械装置及び運搬具(純額)	695,098	597,924
土地	1,474,191	1,451,214
その他(純額)	198,505	308,132
有形固定資産合計	3,892,719	3,897,592
無形固定資産	46,520	82,871
投資その他の資産	348,003	386,019
固定資産合計	4,287,243	4,366,483
資産合計	10,784,918	11,437,438

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	627,157	715,052
電子記録債務	241,512	208,316
短期借入金	1,450,000	1,591,500
未払法人税等	11,161	194,616
賞与引当金	110,627	47,347
その他	377,429	312,079
流動負債合計	2,817,888	3,068,913
固定負債		
長期借入金	240,000	269,000
退職給付に係る負債	347,423	363,847
資産除去債務	36,792	37,170
その他	56,726	52,991
固定負債合計	680,942	723,010
負債合計	3,498,831	3,791,923
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	5,843,835	6,190,537
自己株式	△153,575	△153,772
株主資本合計	7,273,112	7,619,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,382	25,759
為替換算調整勘定	592	137
その他の包括利益累計額合計	12,975	25,897
純資産合計	7,286,087	7,645,515
負債純資産合計	10,784,918	11,437,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	8,148,655	7,713,883
売上原価	7,221,972	6,305,460
売上総利益	926,683	1,408,423
販売費及び一般管理費	706,304	656,161
営業利益	220,378	752,261
営業外収益		
受取配当金	3,559	3,305
受取保険金	11,780	-
助成金収入	4,688	14,359
その他	10,105	9,783
営業外収益合計	30,134	27,448
営業外費用		
支払利息	10,554	8,805
為替差損	7,593	17,307
休止鉱山費用	21,273	4,941
その他	1,844	2,941
営業外費用合計	41,266	33,994
経常利益	209,247	745,715
特別利益		
固定資産売却益	-	15
特別利益合計	-	15
特別損失		
減損損失	-	22,977
固定資産除却損	1,648	2,823
特別損失合計	1,648	25,800
税金等調整前四半期純利益	207,598	719,930
法人税、住民税及び事業税	38,152	227,493
法人税等調整額	35,083	△6,799
法人税等合計	73,235	220,693
四半期純利益	134,362	499,236
親会社株主に帰属する四半期純利益	134,362	499,236



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	134,362	499,236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,967	13,377
為替換算調整勘定	△3,863	△454
その他の包括利益合計	△10,830	12,922
四半期包括利益	123,532	512,159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123,532	512,159

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	4,370,236	3,761,415	8,131,651	17,003	8,148,655	-	8,148,655
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	21,794	21,794	-	21,794	△21,794	-
計	4,370,236	3,783,209	8,153,446	17,003	8,170,450	△21,794	8,148,655
セグメント利益	89,410	94,593	184,004	16,717	200,721	19,657	220,378

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額19,657千円はセグメント間取引の消去19,657千円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,213,032	4,484,389	7,697,421	16,461	7,713,883	-	7,713,883
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	22,688	22,688	-	22,688	△22,688	-
計	3,213,032	4,507,077	7,720,110	16,461	7,736,572	△22,688	7,713,883
セグメント利益	18,679	710,921	729,601	16,209	745,810	6,451	752,261

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額6,451千円はセグメント間取引の消去6,451千円であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「金属粉末事業」セグメントにおいて、売却予定の土地及び建物に係る帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において22,977千円であります。